

家計改善支援事業 支援好事例（架空）

場所	沼津市自立相談支援センター		
性別	女	年齢	30代
支援期間	6ヶ月		
特徴・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・離婚時にうつ病を発症、生家に戻り両親と同居生活を送るが、父親との関係が悪化し、日々転居を迫られている。 ・消費者金融、クレジットカード等から多額の借入金がある。 ・飲食店でのアルバイト収入や、障がい年金の収入があるが、転職を希望している。 		
支援メニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・家計改善支援事業の活用 ・転居支援 ・就労支援 		
支援概要	<ul style="list-style-type: none"> ・法テラスに同行し、債務整理を進める。 ・家計の見える化による現状理解及び問題点を明示する。 ・転居を想定し月毎の収支計画を立て、就労収入額を算出する。 ・寮付きの就労先を中心とした就労支援を行う。 		
結果・改善状況	<ul style="list-style-type: none"> ・債務に関して自己破産を進める事となり、弁護士の受任が決定する。 ・市内の製造業に勤務する事が決まり、社員寮への入居が決定する。 ・相談者自ら家計管理ができるよう、キャッシュフロー表を作成した。 ・金銭的不安が解消しストレスが軽減、浪費することが無くなった。 		